

本サンプル問題の著作権は、日本商工会議所に帰属します。
また、本サンプル問題の無断転載、無断営利利用を厳禁します。本サンプル問題の内容
や解答等に関するお問い合わせは、受け付けておりませんので、ご了承ください。

原価計算初級 サンプル問題

【第1問】 語句選択問題13問・仕訳問題1問（合計44点）

【語句選択問題】

次の各問の空欄にあてはまる答えとして、最も適当なものを選択肢から選びなさい。

- (1) 製品・サービスの原価を計算するためには、最低限、資源の消費が
() が明確になっていることが必要である。

選択肢
いつ起こったか
どの部門で起こったか
誰の責任下で起こったか
どの製品・サービスのために行われたか

- (2) 製品製造のために買入部品を消費したときに発生するのは () である。

選択肢
直接材料費
直接労務費
直接経費
製造間接費

- (3) 原料の受け払いを記録する補助簿は、() である。

選択肢
材料元帳
仕入先元帳
原価元帳
製品元帳

本サンプル問題の著作権は、日本商工会議所に帰属します。

また、本サンプル問題の無断転載、無断営利利用を厳禁します。本サンプル問題の内容や解答等に関するお問い合わせは、受け付けておりませんので、ご了承ください。

- (4) カメラの製造工程において、消耗品としてレンズ研磨機の洗浄剤などを消費するときに発生するのは () である。

選択肢
直接材料費
間接材料費
間接経費
一般管理費

- (5) 自動車の製造工程で、工具による組立作業のためにかかった賃金は () に分類される。

選択肢
直接労務費
間接労務費
間接経費
一般管理費

- (6) 間接的な製造作業のためにかかった賃金は () に分類される。

選択肢
直接材料費
直接労務費
間接労務費
一般管理費

- (7) 製品やサービスに直接認識できないコストの集まりを製品やサービスに結び付けるための工夫を () という。

選択肢
直課
賦課
配賦
振替

本サンプル問題の著作権は、日本商工会議所に帰属します。

また、本サンプル問題の無断転載、無断営利利用を厳禁します。本サンプル問題の内容や解答等に関するお問い合わせは、受け付けておりませんので、ご了承ください。

(8) 外注加工賃は、()に含まれる。

選択肢
製造原価
販売費
一般管理費
営業外費用

(9) 工場の検査装置を制御するコンピュータの減価償却費は製造原価のうち()に分類される。

選択肢
材料費
労務費
経費
一般管理費

(10) 本社事務員給料は()となる。

選択肢
直接労務費
間接労務費
間接経費
一般管理費

(11) 売上高から売り上げた製品の製造にかかった原価(費用)を差し引くことにより、()が計算される。

選択肢
製造原価
売上原価
売上総利益
営業利益

本サンプル問題の著作権は、日本商工会議所に帰属します。

また、本サンプル問題の無断転載、無断営利利用を厳禁します。本サンプル問題の内容や解答等に関するお問い合わせは、受け付けておりませんので、ご了承ください。

(12) 売上高から変動費を引いて計算されるのは () である。

選択肢
売上総利益
営業利益
固定費
貢献利益

(13) 営業利益を得るためには、() の売上高よりも多い売上高を得る必要がある。

選択肢
予算
前期
損益分岐点
同業他社

【仕訳問題】 次の取引の仕訳として最も適当なものの番号を選択肢から選びなさい。

当期に販売した製品の製造原価である 3,000,000 円を売上原価とした。

選択肢	科目	金額	科目	金額
1	(売上原価)	3,000,000	(売上高)	3,000,000
2	(売上高)	3,000,000	(製品)	3,000,000
3	(売上原価)	3,000,000	(製品)	3,000,000
4	(売上原価)	3,000,000	(現金)	3,000,000

本サンプル問題の著作権は、日本商工会議所に帰属します。

また、本サンプル問題の無断転載、無断営利利用を厳禁します。本サンプル問題の内容や解答等に関するお問い合わせは、受け付けておりませんので、ご了承ください。

【第2問】（24点）

レストランチェーンを展開するA社では、千葉南店の営業計画を作成している。千葉南店に関する次の資料にもとづいて、下記の設問（1）から（6）に答えなさい。

[資料]

販売（客）単価	1,200 円
食材費（客1人あたり変動費）	420 円
店長給料（固定費・月間）	250,000 円
アルバイト給料（客1人あたり変動費）	300 円
減価償却費（固定費・月間）	190,000 円
その他の費用（固定費・月間）	280,000 円

[設問]

- (1) 月間固定費の合計はいくらか。
- (2) 来客数が1,800人のときの変動費合計はいくらか。
- (3) 来客数が1,800人のときの営業利益はいくらか。
- (4) 貢献利益率（売上高に対する貢献利益の割合）は何%か。
- (5) 損益分岐点の売上高はいくらか。
- (6) 仮に、販売（客）単価を1,320円に引き上げるとすると、損益分岐点は上昇するか、低下するか、変化しないか。

(1)	円
(2)	円
(3)	円
(4)	%
(5)	円
(6)	上昇する 低下する 変化しない

[計算過程] ※計算過程は採点対象外

売上高	<input type="text"/>	円
変動費	<input type="text"/>	円
貢献利益	<input type="text"/>	円
固定費	<input type="text"/>	円
営業利益	<input type="text"/>	円

数値のクリア

本サンプル問題の著作権は、日本商工会議所に帰属します。

また、本サンプル問題の無断転載、無断営利利用を厳禁します。本サンプル問題の内容や解答等に関するお問い合わせは、受け付けておりませんので、ご了承ください。

【第3問】（32点）

当社の堺工場では、当月より量産品XとYの製造・販売を開始している。次の資料にもとづいて、製造原価の明細および損益計算書を完成しなさい。なお、製造されたXとYはすべて完成しており、月末仕掛品は存在しない。

〔資料〕

1. 直接材料費

消費単価 600 円/個

月間消費量 製品X 800 個 製品Y 700 個

2. 直接労務費

消費賃率 800 円/時間

月間作業時間 製品X 240 時間 製品Y 300 時間

3. 製造間接費

配賦率 1,500 円/時間

配賦基準は直接労務費の月間作業時間とする。

4. 生産・販売状況

	生産量	販売量	販売単価
製品X	3,000 個	2,600 個	450 円/個
製品Y	2,400 個	2,400 個	600 円/個

5. 販売費および一般管理費 340,000 円

製造原価の明細

	製品X	製品Y	合計
直接材料費	円	420,000 円	円
直接労務費	円	240,000 円	円
製造間接費	360,000 円	円	円
製造費用合計	1,032,000 円	円	円

損益計算書

	製品X	製品Y	合計
売上高	1,170,000 円	円	円
売上原価	円	円	2,004,400 円
売上総利益	円	円	円
販売費および一般管理費			円
営業利益			円